

中村学園短大 ○石橋 葉子
 福岡女大家政 木村 和子

1. シースシルエットのワンピースドレスの原型を作るとき、その丈を胴部原型のウエストからスカート丈をとってきめる場合、これを裁断縫合して仮縫すると、後身頃の背中とウエストにしばしばタルミを生ずる。今回はこのウエストにでるタルミについて検討した。

2. a) 1970年6月に、19~20才の本学女子短大生59名の背面をスライディングゲージを使用して描写した。肩胛骨の最も高い位置をA、臀部の最も高い位置をB、ウエストの最もくれた位置をCとする。Cより直線ABに垂線CHを下し、体の線にそって採寸した寸法と直線に計った寸法との差(弧AC+弧CB-AB)Dとくりの深さCHとの関係を調べた。b) 被験者59名に第1報で報告した胴部原型を使用してワンピースドレスの原型を作図させ(後中心に1.5cmのくりをいれた)これを綿布で裁断縫合して仮縫するとき更にタルミを生ずるものにつまみをいれた。c) 被験者59名の背総丈と頸椎点より直線に床まで計った寸法と、体の線にそって計った寸法との差の関係を調べた。

3. ウエストのくりは2~6cm、差Dは0.5~3cmであった。両者の相関係数は0.92で極めて高い。実物による着用実験の結果約60%のものが後中心1.5cmのくりの他にダーツを必要とした。体の線にそって採寸した寸法と直線に採寸した寸法との差はDとほぼ同じであると思われる。